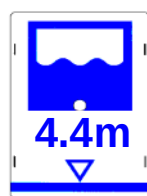


飯山市 まるごとまちごとハザードマップ

●標識の特徴

- ①表示板を設置する箇所の想定される浸水の深さ(高さ)を表示。
(電柱の配電設備等の条件により設置可能な箇所のみ設置)
- ②千曲川が100年に1回の大規模な洪水により、はん濫した時に
想定される浸水の深さと避難場所を表示。



水面を示す
下向き矢印と水面の位置

図記号(洪水)
河川がはん濫した状態を示します



想定される水の深さを数値で
示します

標識の説明です

避難場所を示します

「想定浸水深」を表示する標識のイメージ (千曲川河川事務所設置)

- ③過去の洪水痕跡を基に、過去に記録した浸水の深さ(高さ)を表示。



昭和57年 1.50m

「実績浸水深」を表示する標識のイメージ (飯山市設置)

まるごとまちごとハザードマップ 設置箇所図

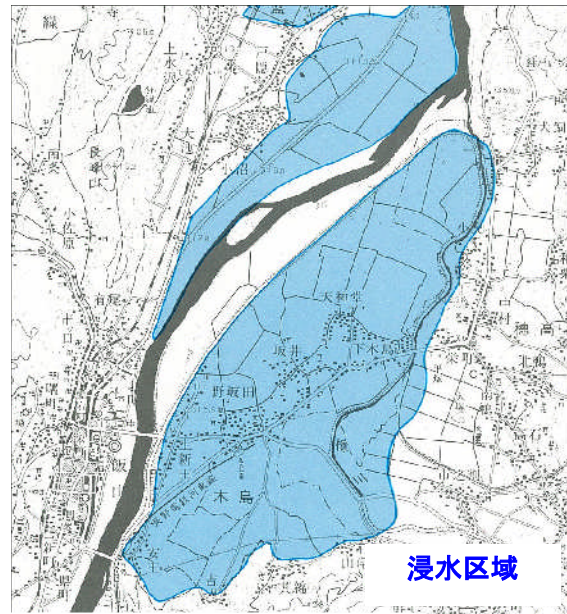
昭和57年に、洪水で大きな被害を受けた経験を持つ飯山市木島地区内の公民館や電柱など、**合計29箇所**（国土交通省設置分20箇所、飯山市設置分9箇所）に水防・避難情報の標識を設置します。

千曲川洪水の履歴（昭和57年出水状況）

千曲川の支川樽川が破堤、被害家屋約6,000戸



昭和57年9月台風18号による出水状況（長野県飯山市）



千曲川の支川樽川が破堤

飯山市木島地区における昭和57年9月台風18号の浸水状況

